

見わたすかぎりの銀世界

<今月の聖句> 「ここに愛があります」 (ヨハネの手紙一 4章10節)

子どもたちが元気に家路についたあとの夜のお庭を  
少しだけ歩いてみるのが好きです。  
とりわけ先週の火曜日は格別でした。  
夕方5時すぎから突如、風雪が強まり  
みるみるうちに、すべてのものを白く変えていきました。  
さっきまで遊んでいた砂場も、遊具も、一つ残った夏みかんも  
刈りこんだ藤棚やせい高のっぼのカンレンボクも  
醍醐の山も、竹林も、十字架のチャペルのとんがり屋根も  
みんなみんな白くなり、やがて午後8時をまわるころには  
すっぽり真っ白な厚いお布団の中に潜り込んでしまいました。  
まるで北海道のスキー場にいるみたい。  
いくつか灯り続けていた電灯の光だけが  
音もなく、なめらかに波うつ銀世界を照らし出しており  
その美しさに息をのみました。

雪が身近にない砂漠の国で育ったイエスさまはかつて  
「天の父は善人にも悪人にも太陽を昇らせ、正しい者にも  
正しくない者にも雨を降らせてくださる」と言われましたが  
つくしの夜のこの雪景色を見たら何と言われるでしょう。  
茶色も、黒も、黄緑も、赤も、青も、紫も  
すべてを一瞬にして真っ白く包み込む  
天の父の深く大きな愛をやはり語られるのではないのでしょうか。

翌朝。おそろおそろ外にでて、ちょっぴり雪に触るも冷たくて  
あわてて部屋に駆け戻る子どもたちの表情の、ほほえましいこと。  
冬の日の冷たさ、楽しさ、美しさ。  
きつといつまでも、君たちの心に残りつづけることでしょう。

(つくし保育園園長 つだかずお)

<礼拝のご案内> 日曜日は教会へ！ お庭のチャペルで礼拝しましょう  
毎週日曜日あさ10時30分 だいが教会  
懐かしい讃美歌、楽しい聖書の話  
ご家族で一緒にどうぞ